

第10回「日本人学生の『アジア体験』コンテストto Vietnam 実施報告

1. 総 評

2001年1月、当財団設立5周年の記念行事として初めて開催した「日本人学生の『アジア体験』コンテスト」も今年で10回目を迎え、昨年度に引き続き「ベトナムで体験したいこと」をテーマに企画書を募集しました。

「日本人がアジアについて考え、実際に体験することで、アジアに対する理解を深めてもらいたい」というこの事業の主旨から、学生の自由な企画を募り、学生が自分の力でより深くアジアを理解し、夢を実現できるチャンスを与えたい、また当財団はこのコンテストを通じ学生の自由な発想や積極性を尊重し応援したいと思っております。

今回、「夢・アジア体験賞」に入賞した3名（大学院生1名、大学生2名、）には入賞賞品として企画実現のための30万円が授与され、2010年3月31日までに各自の企画を実現し、レポートを提出していただきます。

入賞者の企画は各自の経験に基づくものやそれぞれの知識や専攻に関連したもので、それに自分の思いや夢を絡め、またその経験をどのように今後につなげていくかという点で優れており評価されたのだと思います。今回の入賞者には、この機会により一層ベトナムを、広くはアジアに対する理解を深めてもらいたいと思います。今回惜しくも入賞できなかった学生諸君にも、その思いや夢を諦めることなく、企画を実現できるように努力し続けてほしいと思います。

入賞者の皆さんには企画実現を通じて、ベトナムでのご活躍を期待しています。

2. 実施内容

- ①表彰日時：2009年11月21日（土）13：00～13：30
- ②開催場所：株式会社 共立メンテナンス 会議室（千代田区外神田2-18-8）
- ③主 催：(財) 共立国際交流奨学財団
後 援：文部科学省、外務省、駐日ベトナム大使館、産経新聞社
協 賛：(株) 共立メンテナンス

④審査員

審査員	越前谷 明子	東京農工大学国際センター教授 当財団奨学金選考委員会委員
	北原 賢三	神田外語大学キャリアセンター長、教授 当財団奨学金選考委員会委員
	村田 秋良	日新アカデミー日本語学校教員

- ⑤入賞者：3名（大学院生1名、大学生2名）

3. 入賞者（3名）と企画概要 報告

テーマ「ベトナムで体験したいこと」

①宮原 宇将 （東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科）

テーマ：第2回ベトナム地域歯科医療調査

第8回同コンテスト入賞者。前回は都市部と地域との歯科医療の比較を行う企画を実施。今回は場所を地域部に限定し、歯ブラシ、歯磨剤の配布および、予防意識の改革、歯科予防知識の普及と歯磨きの習慣の定着を目的にベトナムを訪問する。

②高橋 昌子 （早稲田大学 教育学部）

テーマ：～地球環境改善のための文化教材づくりとその実践～ベトナム貧困地域の子どもたちと共に

ゴミ問題を中心とした環境への取り組みが必要なことを、問題意識の薄い20代から30代の大人たちにも気づいてもらえるようにするため、都市部スラム地区の子どもたちとディスカッションを重ね、絵本や紙芝居をいっしょに作成し、子どもたちの手で実演する手助けをする。この成果を継続的に地域環境改善に取り組むNGOの活動につなげる。

③木下 祐梨 （甲南大学 文学部）

テーマ：ベトナム人・ベトナムで働く日本人100人の“夢”調査～あなたの夢は何ですか～

アジアのパワーを伝えて日本を元気にする為に、「夢は正社員」という日本の若者に、生き残りだけを考える日本の企業に、ベトナム人の逞しさを伝えるための媒体となるものを掴んでこようと思い、ベトナム人50名、ベトナムで働く日本人50名を対象に“夢”を語ってもらうインタビューを実施する。



後列左より高橋さん（早稲田大）、木下さん（甲南大）、宮原さん（東京医科歯科大）
前列左より（財）共立国際交流奨学財団 三橋事務局長、越前谷審査委員、北原審査委員、村田審査委員